

令和8年度 平泉寺地区市長と語る会 議事要旨

■日時 令和8年5月18日（月）午後7時00分～午後8時30分

■場所 平泉寺まちづくり会館

■出席者 28名

1. 市政報告会

2. 意見交換会

1) 中学校の跡地活用と小学校の統廃合について

質問	<ul style="list-style-type: none">・新中学校開校後、既存の3つの中学校の校舎の活用はどのような話が進んでいるのか聞きたい。・小学校の今後の統廃合を含めた方針は、どのように検討しているのか。統廃合するのであれば、3中学校の校舎を小学校に活用し、既存の小学校を別の何かに活用することも考えられる。水面下で行政主導で進んでいることがあれば教えてほしい。
市長	<ul style="list-style-type: none">・中学校校舎の跡地は、内部では検討しているが、現在子どもたちがその校舎で学び活動している時に、活用方法を子どもたちの耳に入れないほうが良いという議論もあり、今は公にせず、内部での協議を進めているところ。陸上競技場やサッカー等のグラウンドやモルックやゲートボール等のスポーツ施設といった意見は今までに出ている。ただ、全ての校舎を公共施設に転用する予定はない。人口減少の中、避難所のキャパは充足しているので、避難所のために全ての体育館を残す必要はない。他にも宅地造成への提案や民間事業者からの要望もあるが、今は中学校の土地を全て市で買収することを進めて、一つずつ考えていきたい。・小学校については、地域の意見を聞くというのが、小中学校のあり方検討委員会での最後の報告であり、現段階の方向性である。現状としては、勝山市は人口比率で小学校数が日本一多いまちであり、出生数から見た児童数の状況からも、かなり危機的状況にあるという見方もできる。そういった状況から、統合に向けた方針に関しても再度検討する時期にあるという話をしている。野向が第一歩になると思っているが、小学校のあり方検討委員会を再度開催しなければいけない時期にはきていると個人的には感じている。

2) PayPayデジタル商品券について、ジオアリーナのキャンセル料について、クマ対策時期のジオアリーナの早朝解放について

意見	<ul style="list-style-type: none">・今年、PayPayで1万円のデジタル商品券が配布されたのはとても良かったと思うので、またやっていただきたい。・スポ少の関係でジオアリーナを予約して1万円近い利用料金を事前に支払ったが、急用がありキャンセルしたところ料金は1円も戻ってこなかった。ホテルのように当日キャンセルは100%、1週間前なら50%、1カ月前ならなしというような対応を検討していただきたい。・昨年クマ対策で早朝ジオアリーナのウォーキングコースを開放するという対応をされており、とても良いと思ったのでぜひ今年もクマのシーズンに入ったら実施していただきたい。
----	---

市長

- ・ PayPayデジタル商品券のご意見についてはありがたい。持ち帰って担当に伝えたい。
- ・ ジオアリーナのキャンセル料については、一度確認して、もう少し温かみのある解約システムにできないか研究してみたいと思う。
- ・ クマ対策のジオアリーナの早朝解放については、また対応していきたいと思う。時期については内部でも検討しながらやっていきたい。

3) 観光と農業について、農業の担い手不足について

質問	<ul style="list-style-type: none">・観光と農業に関してどのように考えているか。・農業者の高齢化が進み担い手不足が深刻だが、その点について市としてどのように考えているか。
市長	<p>・以前から観光という目的よりは担い手づくりのきっかけとして、体験型の農業を進めてきた。農業全体を観光として考えていくのは、今、行き詰ってしまっている部分もある。ゴールデンウィークの時期には、観光バスから降りて田んぼの田植えの写真を撮っている所を見かけた。農業に触れたことが無い人が多くて、農業は見るだけでも観光資源となるのかもしれない。観光としての農業を幅広くできるよう検討したい。</p> <p>・農業の担い手不足・高齢化は認識している。米の価格が上がり、国は大規模化を推奨しているが勝山のような中山間地では限界がある。やる気のある人にはもちろん支援をするが、農業しながら別の仕事をして暮らしている人にも支援をしていきたい。明確な答えは出せないが、いろんな方法で勝山の農村の持続を進めていくので、ご支援ご指導をお願いしたい。</p>

4) 高齢者の足としてのバスの利便性について

意見	高齢者はバス予約のために電話をかけることも難しい人がいる。定時バスが無くなってしまうのが不安。来年の4月から新中学校の送迎にスクールバスを運行し、市がバスを購入すると聞いたが、そのバスの空き時間など余裕があるのであれば、週に1回程度、買い物支援等に活用させていただけると、地域の交通としてはありがたい。
市長	定時バスのメリットも理解はしているが、これまでの経過や現状を見ると効率は悪い。ただ、フルデマンドバスの欠点である予約について、まちづくり館等と協力をしながら予約できるシステムも一緒に相談しながら作り上げていきたい。スクールバスの12台のうち、3台は市で購入し管理するバスとする予定なので、買い物支援への活用も検討しながら、地域の皆様が地域で暮らし続けるような形で活用していきたい。

5) 柿の木伐採の補助金について

意見	クマ対策の柿の木の伐採やバッカー車での回収はありがたかった。今後も実施してほしいが、柿の木伐採の補助金について、申し込みに行ったが補助を受けられなかった。要件の緩和などを検討してもらえないか。
市長	バッカー車での柿の実の回収は今年も引き続き実施させていただく。
技幹	昨年から、国の補助金を活用し、柿の木の伐採には所有者の負担なしで伐採できるようになった。ただ、これまで市の実績が例年40本程度だったので、40本の申し込みを見込んで予算を取っていたが、実際に400本以上の申し込みがあり全てに対応することができなかった。今年度は予算を確保しているので、昨年お申込みいただいている分を含め、準備ができ次第伐採を進めていきたい。